

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2010 助成の概要と推薦理由

助成番号 10-1-1

プロジェクト名 長期入院の子どもが笑顔になる生の舞台のプレゼント&プログラム開発と人材育成事業
団体名 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
代表者名 岡田 泰子
所在地 千葉県
助成額 300万円
助成期間 2010年10月1日～2011年9月30日
設立年 1988年
URL <https://chiba.gekijou.org/>



成長発達過程にあるすべての子どもと同じように、長期入院の子どもも家族や友達とのふれあう機会が与えられ、情緒的な成長のための働きかけを受けることは大切である。関係者による努力も続けられているが、十分な環境とはなっていないのが現状である。

この団体は、千葉県内のこどもの発達する権利を保障する生活文化環境をつくることを目指し、舞台芸術の体験提供やチャイルドラインなどの子育て支援を行ってきた。地域に住む自分達ができることとして、4年前から千葉県下の小児病棟でプロのパフォーマーによる上演に取り組み、また全国の子ども劇場と協力しながら、病院で舞台を実施するための導入や実施のためのガイドライン作成、コーディネーター育成などにも取り組んでいる。

今回の助成では、小児病棟で長期入院中の子どもに笑顔を届けるために、プロのパフォーマーによる生の舞台をプレゼントする。さらに日常的に家族の気持ちを癒す新たな参加型ワークショップの試行を通じて、地域の人材をいかしたプログラム開発を行うとともに、今後の継続的な実施のために地域の人材の確保を目指す。

本プロジェクトは、単発のパフォーマー派遣ではなく、継続的、面的な広がりを目指したシステム化と質的向上を目指しているところに特徴があり、今後全国の小児病棟での導入に際して貢献できる可能性が高い。さらに、参加型ワークショップは地元のパフォーマーを日常的な訪問活動につなぐことにもなり、地域と病院の架け橋として育つことを期待して助成する。